

# 総務委員会所管事務調査報告

民主・みんな・維新  
中里 省三

8月27日から江戸川区議会総務委員会の都市視察が行われ、新石垣空港、那覇市庁舎を視察してきましたので報告します。

## 石垣新空港整備による観光振興について

旧石垣空港は滑走路が1,500メートルと短く、大型旅客機、貨物機が離着陸できず、観光産業や農産物の輸送に大きな障害となっていた。この不便さを解消し、観光や産業の大きな柱とするために、今回、新石垣空港が3月7日に開港した。滑走路の長さは2,000メートルと伸び、中型ジェット機の離着陸が可能となり、首都圏への直行便の運航ができるようになった。これにより首都圏までの運航時間は約1時間短縮された。

ターミナルビルの建設・管理は旧石垣空港とは異なり、新たに「石垣空港ターミナル株式会社」が設立され、管理運営を任された。新たなターミナルビルは、地上4階建てで、主要な設備を1階に集中させることで「利用者に分かりやすくスムーズな動線の設定」となっている。

## 石垣市の観光地・観光施設への集客力強化事業について

石垣市は、人口約4万8700人、那覇から約410km、東京から約1,960km、台湾とは約280km、日本列島の最南西端に位置している。石垣市議会は議員が22名の構成となっている。市の産業の中心は、なんといても自然豊かな海に関する観光産業が主体である。年間100万人の観光客を見込んでいるが、その割には宿泊施設の数が大きく立ち遅れているように感ずる。

## 那覇市新庁舎建設について

那覇市は、人口約32万1,500人、沖縄の経済・産業・観光の中心地である。

旧市庁舎は、1965年に完成し、44年が経過した。行政需要の増大や業務の多様化、更には建物の耐震性能の不足やコンクリートの剥落等が見られるようになり新庁舎が建設されるようになった。

新庁舎の特徴は、安全で市民が利用しやすく、効率的で職員が働きやすい庁舎を理想として作られている。また、防災面も考慮し、大地震や暴風雨にも耐えられる強固なものとなっている。

しいて難を言えば、エレベーターの数が少ない点ではないだろうか。

議会棟のセキュリティもしっかりしていて、見習う点が多いと感じた。タッチパネルの表示板があり、見やすく使いやすい設計になっていた。江戸川区の新庁舎建設の手本としたい。



那覇市庁舎



新石垣空港（右から2人目）

平成 25 年 9 月 18 日